



平川市新館

しちのへ あ お
七戸 蒼生 くん (3才)

七戸祥弘さん・里美さん 夫妻の子供
組合員名：七戸祥弘さん

どのような、お子さんですか？

弱気なじょっぱり

チャームポイント

笑顔

お気に入り

プラレール

好きな食べ物

白米・お肉

ご家族からお子さんへ一言

いつまでもニコニコ笑顔で元気でいてね！



文芸の広場

短歌

公孫樹と33観音に導かれ
辿り着いたり馬の観音様
山狭の青々とした棚田にも
水に映える夕陽美しく
白き花満天星擲濁下向き花
何を眺めて安泰願うか
梅雨晴れの色彩やか紫陽花の
葉陰に残るは一滴の水玉
道の奥先へと先へと辿り着くや
紫陽花咲くランプのお宿
かすかに見ゆ函館の灯雨に濡れ
紫陽花一面竜飛岬
夏の日の暑い夕日のひとときの
極楽の余り風すつきりと涼し
天高く伸びた藤の花浄土へと
導きなるか法眼寺庭
七夕の夜空見上げて短冊に
願いかなえよ天ノ川渡りよる
晚い夜仄かに光る螢火の
幽玄夢幻の悲しきメロディ

櫻庭きる
雨上がり青田に浮かぶ虹の橋
際立つ岩木嶺水面に揺れる
急患の慌てるナースの急ぎ足
無情の風に命の尊さ
夕暮れて響き渡るや蝉時雨
明日の命が分かるが如し
不揃いのナスや大根言われても
息子と同じ可愛さ余り
蓮池の豪華な花に見とれ
一人佇む午後ひととき
工藤キヌエ

早苗田に映る青空昼の月
コロナ忘れてマスクもなしで
もったいない荒れた田を思うのは
食糧難の時代もあったに
夏野菜いつも馴染みのフルコース
手づくりの味飽きもせずして
小野シミエ

川柳

早苗田に映り込む空眺めつつ
よいこらせと立つ時を待つ
山藪の薄きみどりに足を止め
空の青さを透かしてをりぬ
小田慶喜

コロナ五輪やるのやめるも波高し
金なくとも幸せつかめる希望の灯
ロボットが希望も湧かぬ唐変木
ポジティブもネガティブになる冷めた顔
個性がある人も野菜も不揃いで
定年後疲れた振りする楽隠居
おもてなし変異株がかき乱す
平民にも上から目線に意地がある
覚蓮坊

五輪より待っているのは年金日
山好きも熊には勝てず退散す
特殊詐欺聞こえぬ振りする電話口
朝一番お悔み覧は我がお供
年重ね口先だけは立派です
よく見れば俺にそっくり蟻蛙
工藤キヌエ

五時間も夫付き合う蜻蛉羽化
小田慶喜

アカシヤの落花するまでカンナ屑
伊東槐堂

バラ一輪されど見事な咲きっぷり
内山蘇洞

園丁の仕上げしバラの見事咲く
内山無双

高き枝の実をたぐり寄せすぐりけり
内山明峯

夏の雲追ひかけ子らの背なの羽
小田慶喜

青野へと白き網振る子らの声
小田和子

投稿される皆様へ 短歌川柳など毎月の投稿ありがとうございます。クローズドフェイス応募紙と同じ住所へ投稿してください。JA津軽みらい文芸広場宛(また読みづらい漢字には必ずフリガナをお願いします。次回は9月に掲載となります。よろしくお願ひします。